

別紙1

基本目標	新規	施策	頻度	R7実施状況	内容
環境 S/W	○	持続可能な自治会・地域振興協議会の活動に向けての取り組み			<p>&lt;強化した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会・地域振興協議会に関するアンケートを実施。</li> <li>自治連合会に委嘱している依頼数をR6の78件→R7の38件に削減。</li> </ul>
	○	・自治会及び地域振興協議会のあり方の検討		現状維持	
	○	・自治会及び地域振興協議会に関する課題の洗い出しと整理		強化	
	○	・自治会及び地域振興協議会の活動促進、自助・共助・公助の役割の共有		現状維持	
	○	・市と自治会、地域振興協議会のつながり強化、災害時に助け合える環境づくり		現状維持	
	○	・自治会への加入促進、加入率の向上		現状維持	
	○	・自治会及び地域振興協議会活動活性化のための支援		現状維持	
	○	・市や自治会へ依頼している事業等の見直し		強化	
	○	・ホームページやSNSの活用による回覧文書等の負担軽減		現状維持	
		中間支援組織の育成・支援及び組織体制の充実			-
		・活動団体へのニーズ調査		現状維持	
		・ボラセン、コミセン等との定期的な協議による市とのつながりの強化		現状維持	
		・中間支援組織が多様な領域をつなぐ体制の構築		現状維持	
		市民活動支援と市民提案制度の活用促進			-
		・元気創造まちづくり事業の実施		現状維持	
		・地域振興協議会活動支援事業補助		現状維持	
		・協働事業提案制度に対する市民からの意見聴取および制度の在り方の検討		現状維持	
		企業等の多様な主体との連携・ネットワークの活用			-
		・地域と協働する企業の育成		現状維持	
		・自治会・地域振興協議会との連携強化		現状維持	
	・民間事業者との協働による事業の実施		現状維持		
	・事業者との協力連携による災害時応急復旧体制の充実		現状維持		
○	市民や事業者のシビックプライド（市に対する市民の誇り）の醸成			<p>&lt;課題点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民が市への愛着を持てるような市民活動の周知を図っていく。</li> <li>シビックプライドにつながる市民活動の支援を推進する。</li> </ul>	
○	・地域の魅力を外部に発信		現状維持		
○	・市民が自らのアイデアや活動を実現できる環境の整備		未実施		
○	・市民参加型のイベントやプロジェクトを支援するための枠組みの構築		未実施		
○	・イベントなどを通じて、地域の魅力を再発見し、抱えている課題の解決策を提案		現状維持		
○	・自治会や地域振興協議会の活動を促進し、住み続けたいと思えるまちづくりの実施		現状維持		
担い手 S/W		まちづくりに主体的に関わる人づくり			-
		・元気創造まちづくり事業の実施		現状維持	
		・各種市民講座や市民大学の充実と活性		現状維持	
		・生涯学習講座を活用した学習機会のきっかけづくり		現状維持	
		・自治会加入の促進		現状維持	
		・ボランティアへのポイント制度の活用促進		現状維持	
		まちづくり活動の担い手づくり			<p>&lt;強化した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民学習会を複数回開催し、市民の協働に対する意識向上を図った。</li> </ul>
		・ボランティア観光ガイドや福祉人材の育成および活動支援		現状維持	
		・市民による国際交流の実践		現状維持	
		・地域活動のリーダー育成		現状維持	
	・市民参画と協働による市民学習会の開催	年1回	強化		
	・元気創造まちづくり事業実施団体との連携による担い手との協働		現状維持		
	協働によるまちづくりに取り組む職員の育成			<p>&lt;課題点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は、協働の視点を取り入れることを目的とした研修を実施したため、次年度以降担い手育成をメインとした研修を行う。</li> </ul>	
	・協働推進にかかる市の組織内での情報共有		現状維持		
	・市職員の理解促進とスキルアップを図る職員研修の実施	年1回	現状維持		
	・ファシリテーター等の養成と意見の汲み取りスキルの向上		未実施		
○	コーディネーターの役割を担える職員の配置や育成			-	
○	・元気創造まちづくり事業サポート講座の実施	年2回	現状維持		
○	・ボランティア市民活動センターやコミュニティセンターとの定期的な協議を実施	年2回以上	現状維持		
情報の 発信・共有		多様な機会やメディアを活用した分かりやすい情報の発信			<p>&lt;強化した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種イベントや講座の際に、広報紙、LINE、Facebook、チラシを市の施設に配架し、市民への周知を行った。</li> <li>3制度登録団体の取材に行き、まちづくり通信にて団体紹介を行った。</li> </ul>
		・広報紙やホームページ、SNSなど多様な媒体の特性を活かした情報発信の充実		現状維持	
	○	・デジタルを活用した情報発信等をテーマにした市民学習会の開催	年1回	現状維持	
		・様々なイベントの機会を活用した効果的な情報発信		強化	
		・まちづくり通信を活用した事例紹介	年3回以上	強化	
		市民（市民公益活動団体）が交流できる場や機会の充実			<p>&lt;強化した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種説明会、講座時に意見交換の機会を設け、市民活動団体の交流の機会を作った。</li> </ul>
	・元気創造まちづくり事業成果報告会の開催	年1回	現状維持		
	・市民活動サポート講座における意見交換の機会創出	年2回	強化		
	市民（市民公益活動団体）が情報発信・共有できる機会の充実			-	
	・様々な方法を活用した市民公益活動団体等の活動内容の情報発信・共有		現状維持		
	・市民による情報発信		現状維持		
市政への 参画		広聴制度の充実			-
		・市民が意見を出しやすい意見聴取の方法や、共に理解を図る場の検討		現状維持	
		・市民と市の懇談会の場の充実	各学区年1回	現状維持	
		・市民から提案された意見の共有、精査、計画への反映		現状維持	
		市政への市民参画機会の推進			
	・計画や施策の策定における早い段階からの市民参画とその結果についての説明責任		現状維持		
	・審議会等への市民参画の促進		現状維持		
	・パブリックコメントなどの意見募集機会の充実		現状維持		
市の 推進体制	○	市民団体への伴走支援体制の確立			<p>&lt;強化した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種事業時に情報交換の時間を設け、市民活動団体同士の交流のきっかけづくりを促進した。</li> </ul>
	○	・ふるさと納税寄附金集めのノウハウ共有会の実施	年1回	現状維持	
	○	・市民の意見を把握、反映するためのワークショップの実施	年1回	強化	
	○	組織横断的な支援体制の確立			-
	○	・協働によるまちづくり職員研修の実施	年1回	現状維持	
	○	・協働事業提案制度の実施		現状維持	
○	・自治会や地域振興協議会の活発な活動を支援		現状維持		